

[I] 次のA・B・Cの各文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。答えは、解答欄に記入しなさい。

A

奈良時代には、律令国家の建設に伴って全国の富が中央に集中するようになり、また遣唐使などによって唐の進んだ文化がもたらされ、さらに唐を通じてインドやペルシアなどの文化も摂取され、平城京を中心とする国際色豊かな貴族文化が栄えた。これを聖武天皇の時代の年号をとって天平文化と呼んでいる。

奈良時代には、貴族たちの国家意識の高揚を反映して、天皇が日本を支配する由来を歴史的に説明するために国史の編纂が国家事業として行われるようになった。この事業は、天武天皇の時代に始められ、712(和銅5)年に『古事記』が、720(養老4)年には『日本書紀』が完成した。『古事記』は推古天皇まで、『日本書紀』は持統天皇までの歴史を記しているが、『日本書紀』以後は、『続日本紀』、『日本後紀』、『続日本後紀』、『日本文徳天皇実録』、『日本三代実録』が編纂され、『日本書紀』とあわせて六国史という。

713(和銅6)年には諸国の伝承・地理・産物などを記録することが命じられ、地誌である『(イ)』が編纂された。漢詩文も当時の貴族や官人の教養として重んじられ、751(天平勝宝3)年には現存最古の漢詩集『懷風藻』が編集され、大友皇子・大津皇子・長屋王ら7世紀後半以来の漢詩を収めている。7世紀後半に発達した和歌は、奈良時代にもさかんにつくられ、天皇から民衆にいたるまで多くの人々によって詠まれた。『万葉集』は、奈良時代後期までの歌約4500首を収録した歌集で、そのなかには東歌や防人歌など地方の農民の素朴な歌も多数採録されている。

問(1) 下線部(a)に関連して、『古事記』の序文には、撰録の経過について、「旧辞の誤忤へるを惜しみ、先紀の謬錯れるを正さむとし、和銅四年九月十八日に、臣安万侶に詔して、(ア)が所誦る勅語の旧辞を撰び録して獻上らしむといへり。謹みて詔旨の隨に、子細に採り摭ひぬ。」と書かれている。空欄(ア)に該当する人名を記しなさい。

問(2) 空欄(イ)については5か国のものが現存しているが、空欄(イ)に該当する語句と空欄(イ)がほぼ完全に残っている国名を記しなさい。

出雲国

問(3) 下線部(b)に関連して、奈良末期に自分の邸宅を寺とし、そこに外典(仏教以外の書物)をも所蔵する日本最初の私設図書館である芸亭を設けた人物は誰か、その人名を記しなさい。

石上宅嗣

芸亭  
漢字三注意!

問(4) 下線部(c)に関連して、万葉集の時代は通常四期に分けられるが、次のA・B・Cの中から淳仁天皇時代にいたる第四期の歌人の歌を選んで、その記号と歌人(人名)を記しなさい。

万葉集代表的な歌人

(大化の改新まで) 第一期	天智天武、額田王、有間皇子 etc.
(平城遷都まで) 第二期	持統、大津皇子、志貴皇子、柿本人麻呂 etc.
(733年まで) 第三期 ↑ 山上憶良死年	山上憶良、山部赤人、大伴旅人 etc.
(759年まで) 第四期	大伴家持、大伴坂上御母 etc.

A 春の野に霞たなびきうら悲し

大伴家持

この夕かげにうぐひす鳴くも

B 田子の浦ゆうち出でて見ればま白にぞ

山部赤人

富士の高嶺に雪は降りける

C 石ばしる垂水の上のさ蕨の

志貴皇子

萌え出づる春になりにけるかも

B

二度に及ぶ蒙古襲来は、御家人たちに大きな犠牲を払わせたにもかかわらず、幕府は、十分な恩賞を用意することができなかつたため、御家人たちの信頼を失う結果となった。また御家人たちの多くは、鎌倉時代になってもひきつづき分割相続を繰り返す、それによって所領の細分化という問題を招いたうえ、流通経済の発展に伴い貨幣経済に巻き込まれ、経済的な窮乏が深刻になっ

ていった。そのような窮乏する御家人を救済するための対策としてとられたのが1297(永仁5)年の永仁の徳政令であった。その第1条と第2条は、次のように定めていた。

(第1条)

一 越訴を停止すべき事

<sup>(e)</sup> 右、越訴の道、年を逐って加増す。棄て置くの輩多く濫訴に疲れ、得理の仁猶安堵しがたし。諸人の<sup>たぐい</sup>侘<sup>もと</sup>僚、職として此れに由る。自今以後これを停止すべし。…

(第2条)

一 質券売買地の事

右、所領を以て或いは質券に入れ流し、或いは売買せしむるの条、御家人等侘僚の基なり。向後に於いては、停止に従ふべし。以前沽却の分に至りては、本主領掌せしむべし。<sup>(f)</sup>但し、或いは御下文・下知状を成し給ひ、或いは知行廿箇年を過ぐるは、公私の領を論ぜず、今更相違有るべからず。若し制符に背き、濫妨を致すの輩有らば、罪科に処せらるべし。

次に非御家人・凡下の輩の質券買得地の事。年紀を過ぐると雖も、売主知行せしむべし。

しかし、その後金融業者たちは、御家人に金を貸すことを拒むようになり、かえって金融の道が閉ざされる結果となった。

問(5) 下線部(d)に関連して、『蒙古襲来絵巻』には、肥後の御家人竹崎季長が文永の役で博多に上陸した元軍を迎え撃ち、奮戦している様子が描かれているが、日本軍は、元軍の  戦法と  と呼ばれる火薬を利用した新兵器に悩まされた。空欄(ウ)(漢字2字)と空欄(エ)(ひらがな4字)に該当する語句をそれぞれ記号順に記しなさい。

集団

てつほう

問(6) 永仁の徳政令の第1条の下線部(e)の「越訴」とは何か、10字以内で説明しなさい(句読点は含まない)。

「**敗訴した者の再審要求**」(10文字) 山川用語集より

問(7) 下線部(f)に関連して、永仁の徳政令の第2条によれば、所領の買入れや売買は禁止されることとなったが、それまでに売却してしまった分については、原則として「本主」が領有するものとされていた。「本主」とは何か、10字以内で説明しなさい(句読点は含まない)。

「**売却した元の領有者**」(9文字)

C

南北朝の動乱を経て室町時代になると、古くからの有力農民であった名主層に加え、新しく成長してきた小農民を構成員とする自立的で自治的な惣(惣村)が形成された。惣村は、農業の共同作業や宮座と呼ばれる祭祀集団による神社の祭礼などを通じて村民の結合を強くし、<sup>(g)</sup>村民の会合である寄合の決定に従って、おとな(長・乙名)・年寄・沙汰人などと呼ばれる村の指導者によって運営された。また、村民は、近江などの経済的先進地帯にみられるように自ら守るべき規約である惣掟を定めたり、村内の秩序を維持するために自ら警察権や裁判権を行使する(これを  という)こともあった。さらに、惣村は、<sup>(h)</sup>農業生産に必要な村共用の山野地の確保や灌漑用水の管理も行うようになり、また荘園領主への年貢納入を惣村がひとまとめにして請け負う地下請も広がっていった。

問(8) 下線部(g)に関連して、宮座では、神社の祭礼を行ったほか、豊作の祈願をしたり、神仏に誓約する  を書いたり、 を焼いて神前でその灰を混ぜた水を飲み交わしたり(これを一味神水という)して、結束を誓い合った。空欄(オ)に該当する語句を記しなさい。

起請文

問(9) 空欄(カ)に該当する語句を記しなさい。

問(10) 下線部(h)に関連して、『今堀日吉神社文書』には今堀惣村掟(近江国今堀惣の村掟)が含まれているが、1489(延徳元)年の村掟は、その第9条で「惣森にて青木は葉かきたる物は、村人は村を落すべし。村人にて無物は地下をはらうべし。」と定めている。条文中の「惣森」のような山野地を何と呼ぶか、その名称を記しなさい。

入会地

〔Ⅱ〕 次の(A)から(C)までの各ブロックの文中の空欄1～10に、各ブロックの語群からもっとも適切と思われる語を選んで、その記号を解答欄(解答用紙裏面)にマークしなさい。

(A)

欧米列強が日本に接近し始めるようになった18世紀後半以降、幕府が解決すべき課題の一つとして外国への対応があった。1792(寛政4)年、ロシア使節 1 が漂流民を伴って根室に來航し、通商を求めた。またこの頃、ロシア人は択捉島で、大黒屋光太夫 現地のアイヌと交易をおこなっていた。このような動きがあるなかで、幕府は、1798(寛政10)年、近藤重藏らに蝦夷地を探索させて、択捉島に「大日本恵登呂府」の標柱を立てさせた。

K. ラクスマン

異国にきたラクスマン  
1792

その後1804(文化元)年には、ロシア使節が 1 の持ち帰った 信牌(入港許可証)を携えて、 2 から4人の日本人漂流民を連れて 3 に來航した。幕府はこのロシア使節を追い返したため、ロシア船は樺太や択捉島を攻撃した。さらに、1808(文化5)年には、 4 の軍艦フェートン号が日本に侵入してきた。幕府は、このことに大いに驚き、外国からの攻撃に備える体制を整えていった。

G. 津太夫

重要!

H. 長崎

フェートン号事件により、長崎奉行 松平康英が自害  
AC諸藩に 船出有直が処罰された

B. イギリス

〔語 群〕

- |        |          |          |
|--------|----------|----------|
| A アメリカ | B イギリス   | C ゴローニン  |
| D フランス | E 大黒屋光太夫 | F 高田屋嘉兵衛 |
| G 津太夫  | H 長崎     | I 根室     |
| J 箱館   | K ラクスマン  | L レザノフ   |

(B)

江戸幕府11代将軍徳川家斉は、将軍職にあった時期だけでなく、1837(天保8)年に将軍職を 5 にゆずった後も、大御所として政治の実権を握り続けた。家斉の死後、 5 のもとで、老中水野忠邦を中心として、幕府の権力を強化することをめざした改革が行われた。この改革は、天保の改革と

D. 家慶

いわれる。

忠邦は、まず1841(天保12)年に儉約令を出して、ぜいたく品や華美な衣服を禁止し、庶民の風俗もきびしく取り締まるなどして、綱紀の肅正をはかろうとした。ついで1843(天保14)年には、により、江戸に流入した下層民を帰農させ、農村の再建をはかろうとした。

三大改革とは必ずセットになった

K. 人返し法

このほか幕府は、1840(天保11)年に、川越藩を財政援助するために、川越藩の松平家を藩に、藩の酒井家を長岡藩に、長岡藩の牧野家を川越藩に転封させることを命じた。しかし、領民の反対などを受けて翌年撤回された。このことにより、幕府に対して藩の権力の自立が高まっていることが示されることになった。

I. 庄内

[語群]

- |       |         |          |
|-------|---------|----------|
| A 家定  | B 家宣    | C 家治     |
| D 家慶  | E 川越    | F 関東取締出役 |
| G 棄捐令 | H 旧里帰農令 | I 庄内     |
| J 長岡  | K 人返し法  | L 水戸     |

(C)

家斉による長い治世のなかで、文化・文政時代を中心に文化が栄えた。この文化は化政文化とよばれている。

学問・思想の分野では、幕藩体制が動揺するなかで、古い体制を脱却しようとする動きがみられた。儒者であり経済学者でもあった海保青陵は、殖産興業により商品経済を発達させることを通じて藩財政の再建を図るべきであると主張した。彼の著作としては、がある。

C. 稽古談

また水戸学では、水戸藩主徳川斉昭を中心として藤田東湖らの学者らにより尊王攘夷論が説かれた。藤田東湖の著作としては、がある。

G. 弘道館記述義

このほか洋学の分野では、幕府は、天文方のに西洋暦法に基づいた寛政暦をつくらせた。

L. 高橋至時

↑景保の父

※景保はシーボルト事件で投獄され病死。

[語群]

- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| A 宇内混同秘策 | B 宇田川榕庵 | C 稽古談  |
| D 経済要録   | E 経済録   | F 経世秘策 |
| G 弘道館記述義 | H 志筑忠雄  | I 新論   |
| J 舎密開宗   | K 高橋景保  | L 高橋至時 |

〔Ⅲ〕 次のA・B・Cの各文章(一部変更をくわえている)を読んで、それぞれの設問に答えなさい。

A

1882(明治15)年の末以降、大蔵卿は、流通する不換紙幣の量を減少させることに全力を傾け、他方では、正貨の蓄積を進めた。以上の二つの政策は成功したが、その結果、前者の政策が必然的にもたらしたのが、次のような事態であった。まず、全般的な価格の低下が起きた。他方では、地租など定額の支払が、それまで以上に人々の重荷となっていった。1884(明治17)年は、このような状況がもっとも進展した年であり、その当然の帰結として、経済的な不況が発生した。この不況は、横浜のような大都市ではなく、地方の農村でより悪影響を及ぼした。そのような地域で[中略]起きた暴動を通じて、住民たちの経済的苦境が明らかになった。暴動に参加した人々は、貸金業者を襲撃し、借金の証文を奪ってこれを破棄し、さらには、反乱さえ起こそうとしていた。

(『(ウ) 史料集成』)

問(1) 上の文章は、横浜で発行されていた英字新聞『ジャパン・ウィークリー・メール』1885(明治18)年1月10日版に掲載された記事の一部を訳出したものである。下線部(a)の大蔵卿は1881(明治14)年10月に就任している。この人物の姓名を記しなさい。

松方正義

問(2) 下線部(a)の大蔵卿が就任した同じ年には、民権派の植木枝盛による私擬憲法である(ア)が出された。空欄(ア)に入る私擬憲法の名称を漢字9字で記しなさい。

東洋大日本国国憲按

問(3) 1882(明治15)年に政府は、政社の活動を制限する法律である(イ)を改正して政党の支部設置を禁止した。空欄(イ)に入る法律の名称を記しなさい。

集会条例

問(4) 下線部(b)の暴動のうち1884(明治17)年10月から11月までの間に埼玉県埼玉県の農村で起きた(ウ)では多数の農民などが蜂起した。空欄(ウ)に入る出来事出来事の名称を記しなさい。

秩父

B

第一条 政事ニ関スル結社ノ主幹者(支社ニ在リテハ支社ノ主幹者)ハ、結社組織ノ日ヨリ三日以内ニ社名、社則、事務所及其ノ主幹者ノ氏名ヲ其ノ事務所所在地ノ管轄(ウ)官署ニ届出ツヘシ。其ノ届出ノ事項ニ変更アリタルトキ亦同シ。

[中略]

第五条 左ニ掲クル者ハ政事上ノ結社ニ加入スルコトヲ得ス。

- 一、現役及召集中ノ予備後備ノ陸海軍軍人
- 二、警察官
- 三、神官神職僧侶其ノ他諸宗教師
- 四、官立公立私立学校ノ教員学生生徒
- 五、女子
- 六、未成年者
- 七、公権剥奪及停止中ノ者

女子及未成年者ハ公衆ヲ会同スル政談集会ニ会同シ若ハ其ノ發起人タルコトヲ得ス。

[中略]

第十七条 左ノ各号ノ目的ヲ以テ他人ニ対シテ暴行、脅迫シ若ハ公然誹毀[中略]スルコトヲ得ス。

- 一、労務ノ条件又ハ報酬ニ関シ協同ノ行動ヲ為スヘキ團結ニ加入セシメ又ハ其ノ加入ヲ妨クルコト

[中略]

- 三、労務ノ条件又ハ報酬ニ関シ相手方ノ承諾ヲ強ユルコト

(『官報』)

← 政党弾圧 →  
1875 議院律  
新聞紙条例  
1880 集会条例  
1887 保安条例

問(5) この文章は、1900(明治33)年3月に、上記「第十七条」で想定されているような運動を含めた社会運動の規制を目的として制定された法律の一部である。この法律の名称を記しなさい。

治安警察法

問(6) 1920(大正9)年に市川房枝らによって設立された女性団体 (ウ) などによる運動の結果、1922(大正11)年に下線部(c)が削除され、女性による政談集会への参加と発起が認められることになった。空欄(ウ)に入る団体の名称を漢字5字で記しなさい。

新婦人協会

問(7) 1924(大正13)年には女性の参政権を要求する団体が設立される。その名称を漢字12字で記しなさい。

女性参政権獲得期成同盟会

C

第一条 本法ニ於テ ( ) トハ、戦時(戦争ニ準ズベキ事変ノ場合ヲ含ム、以下之ニ同ジ)ニ際シ、国防目的達成ノ為、国ノ全カラ最モ有効ニ發揮セシムル様、人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ

[中略]

第四条 政府ハ戦時ニ際シ ( ) 上必要アルトキハ、勅令ノ定ムル所ニ依リ、帝国臣民ヲ徴用シテ ( ) 業務ニ従事セシムルコトヲ得

[中略]

第六条 政府ハ戦時ニ際シ ( ) 上必要アルトキハ、勅令ノ定ムル所ニ依リ、従業者ノ使用、雇入 若ハ解雇又ハ賃金其ノ他ノ労働条件ニ付必要ナル命令ヲ為スコトヲ得

(『官報』)

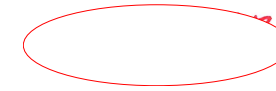
問(8) この文章は、下線部(d)の目的のために、1938(昭和13)年4月に制定された法律の一部である。この法律の名称を記しなさい。

国家総動員法

問(9) 下線部(e)の目的のため、1939(昭和14)年に出された勅令 (エ) により、一般国民が軍需産業に動員されるようになった。空欄(エ)に入る勅令の名称を記しなさい。

国民徴用令

問(10) Cの法律が制定された時の総理大臣の姓名を記しなさい。



近衛文麿

〔IV〕 次の(A)・(B)・(C)の各文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。

(A)

次の文章は、東京大学法学部の教授であった川島武宜の著書『所有権法の理論』のはしがきからの抜粋である。これを読んで、以下の設問に答えなさい。

私が、本書におけるような「問題」—近代的所有権法の歴史的性格の分析—と、「方法」—学—とに興味をもつに至った端緒は、大学入学以来民法学部の指導を与えられた末弘厳太郎、我妻栄の二教授である。特に、我妻教授の「近代法に於ける債権の優越的地位」というわが国の民法学史上の画期的論文は、近代的所有権についての興味を私によび起した最初のものであったし、また末弘教授の数多くの著書論文は、学に対する興味を私によび起した。本書はこの二教授に負うところはなほだ多いことをここに記し、感謝の意を表す。

川島武宜『川島武宜著作集第七巻』(岩波書店、1981年)より

問(1) **川島武宜**は民法学者である一方において、ライフワークとして学を研究した。この空欄には、上記の文章中の空欄と同一の語句が入るが、空欄(ア)に該当する語句を、次の選択肢から1つ選んでその記号を解答欄にマークしなさい。

〔選択肢〕

- A 経済法                      B 社会保障法                      C 法史  
D 法哲                              **E 法社会**

問(2) 下線部(a)に関連して、1890(明治23)年に公布された旧民法に対して民法典論争が起こったが、旧民法に反対した法学者の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢から1つ選んでその記号を解答欄にマークしなさい。

梅謙次郎、ボアソナード  
旧民法推進派

〔選択肢〕

- A 穂積八東・ボアソナード                      B 穂積八東・梅謙次郎  
C 梅謙次郎・ボアソナード                      **D 穂積陳重・穂積八東**  
~~E 穂積八東・梅謙次郎~~

(B)

次の文章は、東京大学法学部の教授であった星野英一の著書『心の小琴に』からの抜粋である。これを読んで、以下の設問に答えなさい。

昭和二〇年四月末、大学へ入って講義を聴き出して一月したところで、勤労働員に出ることとなった。行先は、神奈川県高座の海軍の工場である—三島由紀夫の小説にもこの頃を扱ったものがある。彼も行っていたのである—。このとき法学部では、試験をして、三〇名の者が勤労働員に出ないで本郷で授業を受けることのできる制度を作った。「特別学生」と呼ばれたと思う。まことに幸いなことに、その試験に受かって、勉強を続けることができるようになった。(中略)

最初に、学部長の説明があり、きわめて恵まれた地位を与えられた私共は、喜びと責任感とで張り切ったものである。(中略)空襲が頻繁にあり、そのうち一月一回くらいは大きなもので、友人の家も次々と焼けていった。私の家も、に焼け、焼け残った知人のアパートの一室に一家五人で間借りしている有様だった。

星野英一『心の小琴に』(有斐閣、1987年)より

問(3) 下線部(b)の、三島由紀夫は多くの小説を著した。三島由紀夫の小説に該当するのは以下のどれか、もっとも適切なものを、次の選択肢から1つ選んでその記号を解答欄にマークしなさい。

〔選択肢〕

- A 点と線 **松本清張**      B **潮騒**      C 伊豆の踊子 **川端康成**  
D 坂の上の雲 **司馬遼太郎**      E 破戒 **島崎藤村**

問(4) 空欄 (イ) に入る人物(上記の文章では名字のみが入る)は、第2次世界大戦後東京大学の総長となった人物であり、戦後の講和条約について **全面講和論を主張し、吉田茂首相から「曲学阿世の徒」と批判された人物**である。空欄(イ)に該当する人物を、次の選択肢から1つ選んでその記号を解答欄にマークしなさい。

〔選択肢〕

- A 矢内原忠雄      B 瀧川幸辰      C **南原繁**  
D 上原専祿      E 田辺元

問(5) 空欄 (ウ) には1945(昭和20)年、約10万人が死亡したアメリカ軍による東京大空襲があった日にちが入る。空欄(ウ)に該当する日にちを、次の選択肢から1つ選んでその記号を解答欄にマークしなさい。

〔選択肢〕

- A 3月5日      B **3月10日**      C 3月15日  
D 3月20日      E 3月25日

**沖縄に米軍が上陸したのは4月1日**

(C)

次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

冷戦の終結後も国際社会が依然不安定要因を内包している中で、我が国が引き続き安全を確保していくためには日米安保条約が必要であります。また、日米安保体制は、国際社会における広範な日米協力関係の政治的基盤となっておりますし、さらに、アジア・太平洋地域における安定要因としての米国の存在を確保し、この地域の平和と繁栄を促進するために不可欠となっております。

(中略)

党が、日米安全保障関係のすべて、すなわち条約上のさまざまな義務を含め完全に履行する決意を明示したものと受けとめてよいかどうか、こういうお尋ねでございますが、私の政権のもとでは、今後とも日米安保条約及び関連取り決め上の義務を履行していくとともに、日米安保体制の円滑かつ効果的な運用を確保していく所存であります。(中略)

次に、自衛隊に関する憲法上の位置づけについての御質問でございます。(中略)私としては、専守防衛に徹し、自衛のための必要最小限度の実力組織である自衛隊は、憲法の認めるものであると認識するものであります。(中略)また(中略)今後とも、国際平和維持活動に対する協力については、憲法の枠内で、国際平和協力法に基づき積極的に行っていく所存であります。

(『官報』)



問(6) 上記の文章は、1994(平成6)年7月20日、衆議院における当時の村山富市首相による羽田孜議員への代表質問に対する答弁である。村山首相と羽田議員の当時の所属政党の組み合わせとして正しいものはどれか、次の選択肢から1つ選んでその記号を解答欄にマークしなさい。なお、選択肢における政党の名称は、村山首相、羽田議員の当時の所属政党の順であるものとする。

[選択肢]

- A 社会党・新生党 → 後に新進党結党のため  R 社会党・新進党  
 C 社会民主党・新進党 → 解決  D 社会民主党・新生党  
E 社会党・自由党

問(7) 村山富市内閣の直前の内閣と直後の内閣の組み合わせとして正しいものはどれか、次の選択肢から1つ選んでその記号を解答欄にマークしなさい。なお、選択肢における内閣の組み合わせは、村山富市内閣の直前の内閣、直後の内閣の順とする。

[選択肢]

- A 羽田孜内閣・橋本龍太郎内閣  
B 細川護熙内閣・小渕恵三内閣  
C 宮沢喜一内閣・橋本龍太郎内閣  
D 細川護熙内閣・橋本龍太郎内閣  
E 羽田孜内閣・小渕恵三内閣

問(8) 下線部(c)の冷戦について、誤った記述はどれか、次の選択肢から1つ選んでその記号を解答欄にマークしなさい。

[選択肢]

- A 第二次世界大戦後のヨーロッパにおいては、ソ連が1947年に欧州諸国の共産党の連携組織としてコミンフォルムを結成した。  
B 1949年、アメリカと西欧諸国の共同防衛組織として北大西洋条約機構(NATO)が結成されたが、西ドイツは結成当時の加入国ではなかった。  
C 1955年、ソ連をはじめとする東欧諸国の共同防衛組織としてワルシャワ条約機構が結成されたが、ユーゴスラヴィアはこれに加入していない。  
D 1968年にアルバニアはワルシャワ条約機構から脱退した。  
 E 1989年12月にアメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が会談し、冷戦の終結を宣言したのは、アイスランドのレイキヤビクにおいてであった。 X 2199会談

問(9) 下線部(d)の日米安保条約(日米安全保障条約)について、誤った記述はどれか、次の選択肢から1つ選んでその記号を解答欄にマークしなさい。

[選択肢]

- A 1951(昭和26)年に調印された日米安全保障条約(日本国とアメリカ合衆国との安全保障条約)において、アメリカ軍の日本駐留は、日本国内における大規模な内乱および騒ぎを鎮圧することも目的としていた。
- B 1951年調印の同条約では、アメリカは日本の防衛義務の明示には同意しなかった。
- C 1951年の同条約の調印は、サンフランシスコ平和条約の調印と同日に同地でなされた。会場は異なすが、同じサンフランシスコ
- D 1960(昭和35)年に調印された新日米安全保障条約(日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約)において、日本の自衛力増強が義務付けられている。
- E 新日米安全保障条約の批准案は、1960年5月に衆議院で強行採決された後、参議院でも採決され、同条約は成立した。

結局採決されなかった

問(10) 下線部(e)の国際平和協力法(PKO協力法)―正式には「国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律」―について、正しい記述はどれか、次の選択肢から1つ選んでその記号を解答欄にマークしなさい。

[選択肢]

- A 国際平和協力法は、海部俊樹内閣のときに成立した。
- B 国際平和協力法の制定過程においては、自衛隊の海外派遣が憲法に違反する疑いがあるという指摘があった。
- C 国連平和維持活動に日本からは自衛隊のみが参加している。
- D 国際平和協力法に基づいて日本が初めて自衛隊を派遣したのはモザンビークである。
- E 国連平和維持活動は、平和維持軍および軍事監視団の2組織によって国連が行う平和維持活動である。

カンボジア

+ 遠征監視団